

避難訓練・集団下校 R6.9.2

9月1日は「防災の日」です。これは、今から101年前の、「関東大震災」での犠牲者（約10万人）の方々のご冥福を祈るとともに、そこで得た教訓を生かすために昭和35年に制定されました。また、台風シーズン（襲来の多いとされる二百十日）にもあたるため、「災害への備えをおこたらないように」との戒めも込められ、日本各地で「防災訓練」が行われています。

本校でも、翌9月2日 11時45分より避難訓練を行いました。この日の朝礼での校長先生のお話を受けて、どの学年の児童・生徒も真剣に取り組んでいました。



各学年ごとに指定された避難経路通って、アリーナAへ向かいます。



アリーナAでは、全校が集合し点呼した後、根本副校長先生の講話を聞き、災害を身近なことに感じ考えを深めました。